

木頭学園 ふるさと学習 ～木頭学園学校運営協議会としての社協のとりくみ～

那賀町社会福祉協議会木頭支所では、木頭学園学校運営協議会発足時より、委員の一員として学校と一緒に「ふるさと学習」に取り組んでいます。

1年生・2年生対象

「季節を追いつながら木頭を知る」というテーマのもと、学校と地域をつなぐお手伝いをしています。

㊦ 6月5日（木）白瀬峡や畦ヶ野地区にまつわる昔話をベースに、そこに生きる生き物や当時の住民の暮らしなどを、現地調査をしながら話を聞きました。



㊦ 7月9日（水）鮎の友釣り体験を実施。地域の釣り名人2名と安全管理1名の方のご協力をいただき、川の安全と熱中症予防に十分対策を取って実施しました。



校外学習で得られる学びは大きく、地域の歴史やそこに暮らす先輩方の生き様、命をいただく大切さや、そこで生活しているありがたさなど、実り多い学習になったと思います。2学期以降は、「木頭で作る夏野菜について」「高ノ瀬峡の紅葉やその地にまつわる話（過去の災害など）」を予定しています。

ふるさと学習は地域の方々の協力なしにはなかなか実現できません。子どもたちの受け入れを快く引き受けて下さる地域の皆様、本当にありがとうございます。社協マンとして、学校運営委員の一員として、これからも学校と地域を繋いでいきたいと思っています。

木頭老人クラブ連合会&木頭学園

交流グラウンドゴルフ大会



5月28日（水）恒例となっている、木頭老人クラブ会員と木頭学園児童生徒と交流グラウンドゴルフ大会が開催され、総勢60名が参加し、上位入賞を目指しました。



児童生徒から老人クラブ会員へ

試合前に、名前を覚えてもらうための名刺を配り、交流を深める工夫をしていました。

老人クラブから児童生徒へ

いつも老人クラブ会員が上位を占めるので、今回はブービー賞も用意し、子どもたちにも楽しみができるようにしました。高齢者にとっても子どもたちにとっても、交流を続けることでお互いに学びあうことがある貴重な機会となっています。

